

令和 5 年度 ACTR

分類 番号	A4	取組 名称	地域・学校・博物館との連携にもとづく文化遺産の次世代に向けた活用研究
研究代表者所属・職名： 文学部・教授			氏名： 菱田 哲郎
<b>研究担当者：</b> 京都府立大学（菱田哲郎、諫早直人、岸泰子、本庄総子、福井亘、佐々木尚子、小滝篤夫、仲林篤史） 外部分担者・協力者（栗山雅夫氏、岸本卓也氏、奥勇介氏、松本学博氏、鷺田紀子氏 ほか）			
<b>主な連携機関</b> （所在市町村、機関（部署）名） 京都府京丹後市須田区、京丹後市文化財保存活用課、福知山市文化・スポーツ振興課 など			
<b>【研究活動の要約】</b> 京丹後市久美浜町須田に所在する湯舟坂 2 号墳を中心とした調査研究の成果を活用するため、成果報告会を 7 月に実施した。また、近傍の須田平野古墳の調査に合わせて、京丹後市立高龍小学校と連携の授業をおこない、また地域を対象とした説明会を実施するなど、地域の文化資源化に向けた取り組みをおこなった。 福知山市夜久野町にある夜久野末窯跡群の分布調査を継続し、自然科学的な分析の成果も合わせて報告書にとりまとめた。この地域の古墳出土資料についても報告書に掲載するとともに、これらが所蔵されている夜久野町化石・郷土資料館の展示をリニューアルした。			
<b>【研究活動の成果】</b> 京丹後市須田区における湯舟坂プロジェクトについては、これまで ACTR での取り組みを継続しており、今回は 3 回目となる報告会を、「地域資源としての湯舟坂 2 号墳Ⅲ —湯舟坂 2 号墳の被葬者像を探る—」と題して 7 月 1 日に実施した。そして、地元の京丹後市立高龍小学校との連携についても 2 年目となり、発掘調査の体験などを含むメニューを実施した。事前、事後の学習も合わせておこない、一定の効果が見込める事業となった。発掘調査については、現地説明会とは別に地元向け説明会も実施し、地域の関心を高めることができた。 福知山市夜久野町における取り組みでは、これまでの成果をとりまとめて報告書を刊行することができた。夜久野末窯跡群では、考古学的な成果に加えて、地質や植生などの自然環境についての研究成果を掲載し、140 基もの窯跡がどうしてこの地域に造られたのかという疑問に答えられるようにした。後期古墳についての再整理の成果も報告書に掲載したが、これまで出土地の誤認などがあった点をただし、京都府指定史跡の長者森古墳などの出土資料を特定することができた。こうした成果をうけ、夜久野町化石・郷土資料館の郷土資料の展示についてリニューアルを実施した。学生が中心となって解説パネルを新たに作成し、正確でわかりやすい展示を作ることができた。			
<b>【研究成果の還元】</b> R5.7.1 京丹後市久美浜庁舎で「ACTR 湯舟坂プロジェクト第 3 回成果報告会」 ※参加者約 80 名 R5.7.1 諫早直人・井川瑞季（編）『地域資源としての湯舟坂 2 号墳Ⅲ —湯舟坂 2 号墳の被葬者像を探る— 発表資料集』刊行（府大図書館で閲覧可） R6.3.29 菱田哲郎・諫早直人編『夜久野の後期古墳と末窯跡群』（京都府立大学文化遺産叢書 28 集）刊行（府大図書館で閲覧可）			
<b>【お問い合わせ先】</b> 文学部 考古学研究室 教授 菱田 哲郎 Tel: 075-703-5264 E-mail: hisida@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）



高龍小学校 5 年生の発掘体験



夜久野末窯跡群の調査風景



夜久野町化石・郷土資料館での展示作業